



TKI



国際交流通信

第8号

奈良県立登美ヶ丘高校
国際教育部 編集
2020年1月発行

オーストラリアの大学進学について

2020年、新しい年が始まりましたね。みなさんは今年目標を決めましたか。「今年は～をしよう」と決めることは、そのための「具体的な方法」を決めることとなり、自分の目標に向かってどのように進んだらいいのかが見えてきます。今回はオーストラリア留学についてみなさんに情報提供をしたいと思いますので、海外に、英語に、少しでも興味があれば、是非一歩踏み出してみてください。



さて、みなさんは、オーストラリアの人口がどれくらいかご存じですか。2018年の統計によると、約2,400万人だそうです。驚くことにそのうち海外で生まれた、いわゆる移民の人たちは、3人に1人にのぼるそうです。オーストラリアは世界有数の親日国としても有名ですが、メルボルンなどは、世界でもっとも住みやすい町の一つに選ばれていることもあり、日本人にとっていつも訪れたい国の上位にきているのがうなずけます。

それでは、そんなオーストラリアにはいくつ大学があるか知っていますか。37の国公立大学を含め、43の大学があるそうです。以外と少ない数ですね。最近では全学生数の21.1%（領事館の説明から）が留学生ということで、5人に1人、いかに多くの外国人留学生がオーストラリアで学んでいるかよくわかります。

また以下にオーストラリア領事館が提供してくれた表がありますが、オーストラリアの大学が世界のトップ大学にいくつも入っているのがわかります。日本の大学とネットなどで比較してもその優秀さに気づくことでしょう。こんな大学に留学して4年間勉強できたらどれだけすばらしいことでしょう。

留学はみなさんの「行きたい」という強い想いで実現できるものです。以下にいくつか資料をつけておきますので是非チャレンジしてほしいものです。けっして高い目標ではありませんので、今から準備をしませんか。

- 入学のために必要なもの： 高校の成績・英語力証明書（TOEFL・IELTSなど）・卒業見込書
- 入学時期： 通年で2, 3回
- 年間学費： A\$ 27,000~42,000 （日本円で200万円~310万円） * \$ 1 = 74円概算
- 年間生活費： A\$ 15,000~40,000 （同、111万円~296万円）
- 奨学金： 学費等をカバーするため是非申請しましょう
- アルバイト： 学生ビザでアルバイトが可能、2年を経過すると2年以上の在留が許可され、現地での就職のチャンスも出てくる。

どうですか。日本の大学に下宿をして通うことを考えれば、それほど費用も変わらないようですね。日本にもオーストラリアにも奨学金制度がありますので、一念発起、夢は大きく、実現をさせてみませんか。

大阪にあるオーストラリア領事館では、毎年一度「留学フェア」を催して相談の機会をもたれているようです。今年は、5月31日(日)に大阪ハービスホールで開催されるそうですので、参加をしてみませんか。夢は自分で叶えるものです。 *これらの資料は、オーストラリア領事館より提供していただきました。（国際教育部）

世界の大学ランキング (2020年 オーストラリア領事館提供資料)

29位	オーストラリア国立大学
38位	メルボルン大学
42位	シドニー大学
43位	ニューサウスウェールズ大学
47位	クイーンズランド大学
58位	モナッシュ大学
82位	西オーストラリア大学

*ランキングにはいろいろな形があるので、参考程度にしてください



先日、海外大学留学セミナーに参加する機会がありました。そこでお話になったことは、みなさんの本気度をどこまで自分で高められるかということでした。海外でなく、日本の大学や専門学校に進学するにしても、ただ行ってみたいからではなく、「自分はどのようにその学校を選ぶのか、そこで何を勉強して、どんな自分になって、将来どのように社会に貢献するのか」といった動機の整理と長期的なビジョンを持つことが大切であるということでした。このアプローチはみなさんのAO入試や奨学金獲得の時にきっと役に立つと思われますので、ぜひ十分な時間を取って始めていきましょう。（国際教育部 N）